

星稜 サ・エ・ラ

seiryo ça et là 2024 No. 73

inaokigakuen news letter



巻頭

理事長就任挨拶

特集1

2025年4月

人文学部に国際英語学科を開設

特集2

中学校野球部全国大会

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

星稜Pick up

2023年度卒業生の進路

Amitié Seiryo ～星稜の友～

総合研究所・SDGs産学地域連携センターだより

星稜 information

星稜サ・エ・ラに関する
アンケート実施中!



回答者に抽選でQUOカードをプレゼント

ご挨拶



稲置学園は、1932年、満州事変の勃発により日本が戦争に向かおうとする時代に、初代の理事長である稲置繁男が23歳の時に金沢市彦三の地に、北陸明正珠算簿記専修学校を創設したことに始まります。稲置学園は、初代理事長・稲置繁男が夢多き青年教師であった時に抱いた信念、学校は何も高邁な学問を教えることだけが使命ではなく、誠実にして社会に役立つ人間を具体的な実学を通して育成することこそ、教育にとって必要なのだという初心を今に引継ぎ、これを建学の精神として今日まで継承してまいりました。

創立から90年以上を経て、学園は、様々な社会問題に直面することを余儀なくされております。少子化や地方における過疎化、これに起因する教育機関への志願者の減少、急激な情報化社会の進展や生成AIのもたらす未来への不安、激しい気候変動による災害、そして、家庭の貧困による教育の格差・いじめ・不登校…など、解決を見いだすことがきわめて困難な問題が山積しています。こうした問題への解決や対応に明らかな正解というものはなく、私たちには暗中模索の中で、自ら個々の問題を抽出し、当該の解決の糸口を探索し、それを実践していく力が求められています。

稲置学園の各設置校等の教職員は、こども園・幼稚園(2園)・中学校・高等学校・短期大学部・大学・大学院において、一人ひとりの園児・生徒・学生が、自ら諸問題を知り、その問題に様々な方法で取り組み、そうした試行錯誤の過程で新たな価値を創造し、未来に生きる力を勝ち取ることができるような人材養成のための教育を実践するとともに、役員及び教職員もまた自らそれを実行していきたいと考えております。

最後となりますが、1月の能登半島地震によって被災された皆様に対して心よりお見舞い申し上げます。学園のキャンパスも地震によって大きな被害を受けました。幸いにも多くの皆様のご支援をいただき教育に支障のない状態にまで復旧しておりますが、完全な復旧には至っておりません。設置校である金沢星稜大学は、中期事業計画の中で「能登半島の創造的復興とともにあゆみ、地域創生に貢献する全学的な取り組みを推進する」と宣言しており、今後とも、社会からの負託を受けつつ、学園全体で「誠実にして社会に役立つ」人を育成することを役員及び教職員一同、互いに協力してまいります。

2025年4月、 人文学部に国際英語学科を 開設します。

「国際英語」とは

「国際英語」とは政治や経済、教育などの国際的な場面において総体的に用いられる英語のことをいいます。

英語を話す人は世界で約15億人いるといわれていますが、そのうちネイティブスピーカーは4億人足らず。英語を母語としない人のほうが圧倒的多数を占めています。こうした状況を踏まえ、世界各地で話される多様な英語に柔軟に対応し、海外でのコミュニケーションの手段として英語を学ぶというのが「国際英語」の考えです。

※出典 世界経済フォーラム（通称ダボス会議）レポート

国際英語学科での学び

国際英語学科では、高度な英語運用能力、他者を知り自分を語る力、英語キャリア力を育成します。

全員早期留学と英語で学べる多様な授業

1年次後半から2年次前半の約4～8カ月間、海外の協定校などに全員が留学します。早期に留学することで、文化など様々な違いや刺激を吸収しやすく、留学先で身をもって実体験したことから気づきを得て、帰国後に多様なテーマを自分事としてとらえ、より深く学びを進めることができます。EAP（アカデミック英語）の授業などを中心に英語で授業が行われます。

国際語である英語の高度な運用能力をもち、世界の人々を知り、自分を語る



ただ単にツールとして英語を使用できるのではなく、国際語としてグローバルな視点から高度な英語力を高めていきます。そのため異文化理解を深めたり、適切に表現できる能力を高めていきます。

ICTを活用し、現代社会でグローバルに活躍するスキルの獲得

AIなどデジタルスキルの活用は、英語学習には欠かせません。どのようにAIを言語学習に活用していくのかも考えます。留学先での生きた英語体験を、帰国後にさらに発展して活用する場を設けることで、グローバルな場面での交渉、学術的な意見交換にも対応できる国際語としての英語活用能力を養います。

卒業後の進路

人文学部のこれまでの卒業生の進路は、中学・高校の英語教員、国際機関、グローバル企業、マスコミ、航空運輸、製造業、金融・保険業、公務員など非常に多様で、就職先の企業団体からは対人力や行動力が高く評価されています。また海外を含めた大学院進学も積極的に後押ししています。

新しく開設する国際英語学科では、「国際英語」を身につけた学生たちがますます社会で活躍できるよう支援していきます。

【入学定員30名】

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

●国際英語学科ページ

https://www.seiryu-u.ac.jp/u/education/humanities/eng_01.html



●入学者選抜情報ページ

<https://www.seiryu-u.ac.jp/u/entrance/index.html>





式野球大会 4年連続17回目の大会出場



監督 ● 五田 祐也

日頃より中学野球部を応援いただきありがとうございます。

今大会においても学校関係者、保護者会、卒業生、野球部OBの皆様方はじめ、たくさんの方々にご支援、応援いただきましたこと、心から感謝申し上げます。

春の全国大会で優勝してから、春夏連覇という目標を掲げて日々の研鑽を積んでまいりました。しかし、その大きな目標が時には重くプレッシャーとなり、満足のいくプレーができずに悔しい思いをする選手もいました。

その悔しさをバネにし、5月の予選が始まってからは、3年生が一体となりチームがまとまっていくことができました。

全国大会では、相手投手の配球、内外野のシフトなどから、打倒星稜を掲げて研究しているのがわかり、苦しい展開のゲームが多くありました。選手たちは毎回我慢の連続でしたが、まさに耐えて勝つという星稜野球を体現してくれました。

ピンチの場面では「日本一練習をしてきたから大丈夫だぞ」と声をかけると、その気持ちに応え、笑顔で野球をしてくれる選手の姿に頼もしさを感じました。

今大会も、家族やたくさんの方々に応援していただいて、最高の舞台で野

球ができた実感しています。3年生には次のステージに向かう姿で応援してください。皆様に感謝の気持ちを伝えられるよう頑張りたいと思います。また、2年生、1年生には3年生の残してくれたものをさらに進化させて、新しい星稜中学野球部を作りたいです。

たくさんのご支援、激励本当にありがとうございます。これからも中学野球部をよろしくお願いします。

3年 ● 松本 壮平 (副将)

うれしかったことは今まで走り込みや冬場のトレーニングなど苦しいことをたくさんしてきた成果が横浜の試合で返ってきたことです。相手に追い上げられたり、先制を許して逆に追いかけたりと苦しい場面が多々ありましたが、今までの走り込みやトレーニングのおかげで何とか粘ることができたと思います。

この横浜での経験をこれからの高校野球や野球人生に生かしていきたいと思っています。

そしてこれまで支えてくださったたくさんの方々へ感謝の気持ちを忘れずに今回は日本一という恩返しができなかった分、これからの野球人生で必ずもう一度全国制覇をしてたくさんの方に恩返ししたいと思います。



星稜中学校野球部

第41回全日本少年軟



3年●小路 瑛主(主将)

僕たちはこれまで多くのつらいことや苦しいこときついに直面してきました。それでも自分たちはみんな力を合わせて協力して乗り越えてきました。特に1月1日にあった能登半島地震では多くの方々が被災され、とても野球ができる状況ではありませんでした。それでも保護者の方や支えてくれる多くの人が僕たちの大会のために時間を割いて協力してくれたのでここまでこれたと思います。今回の大会では春と同じように支えてくれた方々のために選手も一致団結してきました。人間としても成長できました。今回の大会ではこの一年の集大成を出せたと思います。結果は3位と悔しかったですがやってきたことは全て出せたと思っています。

3年●杉原 理玖(副将)

今回の大会を通して、チームとしても個人としても成長できたと思います。苦しい場面でも全員でカバーし合えたことが一番良かったと思います。今年の春の全国大会で自分たちは優勝しました。ですが自分たちが目指していたのはここではなく、夏の全国大会で優勝することでした。そのため、春の全国大会が終わった後も油断することなく自分たちのプレーを磨いてきまし

た。夏の全国大会は3位という結果でとても悔いの残る結果でしたが、しっかり全員が勝つためのチームの仕事をしていたと思います。最後にマウンドでみんなが集まって優勝を喜びましたが、さすがにかなえられなかったことが本当に悔しかったです。しかし、このチームの仲間と共に戦えた時間は最高の時間でした。これまで支えてくださった全ての方々に感謝の気持ちを忘れずに、次は高校で甲子園という舞台で必ず優勝できるように頑張ります。

3年●山田 侔生(副将)

この大会ではチームが試合を重ねていくごとに成長したなと感じた大会でした。誰かがミスをして誰かがカバーしたり、練習してきたことが出せた大会だったと思います。春の全国大会が終わった後は中々結果が出ず、思ったようなプレーができない期間がありました。チーム全員で力を合わせてたどり着いた横浜の舞台は今までの野球人生で一番楽しかったです。最後はマウンドには集まれず、春夏連覇でなかったことは悔しかったです。高校では中学校で達成できなかった春夏連覇を目指して、切磋琢磨しながらやっていきたいです。またこれまで支えてくださった方々に感謝の気持ちを持って野球で恩返しできるように頑張ります。



星稜中学校・高等学校
近藤 健人 先生

生徒個々の違いを意識

私は今、星稜中学校で勤務3年目を迎え、中高の両方で数学を教えています。

自分が教師として一番大切にしていることは「考える力」を身につけてもらうことです。授業でも、その思いのもと、一方的に教えるだけではなく、一人で、ペアで、班で考える時間をできるだけ設けるようにしています。「考える力」は今後の人生で必ず大きな意味を持つと考えています。テストで高得点をとることも大切ですが、数学という学問を通して「考える力」を身につければ、社会人になったときにも役立つはずです。

また数学を苦手に思っただけでなく、一人ひとりに合わせた指導を心掛けています。数学は一度苦手意識を持つてしまうと後追いが難しいので、まだまだ模索中ですが、

授業を受け持つクラスの生徒が皆でレベルアップできるような授業を目指しています。

気をつけていることは、生徒一人ひとりの個性の違いをしっかりと意識すること。一人として同じ人間はおらず、かける言葉ひとつとっても、相手の受けとりようは異なります。多感な時期の中高生ならなおさらです。そのためにも、できるだけ会話を重ね、個々

「考える力」を身につけ、 将来の糧にしてほしい。



新潟出身ですが、金沢大学の学生時代から「金沢の理数教育に貢献したい」と思い、就職先も金沢を選びました。

の性格をできるだけ理解しようと努めています。

理数教育に携われる星稜へ

教師になろう、と明確に定めたのは金沢大学の4年次の時です。将来の選択肢を増やすために教員免許はとっていたほか、学生の中から金沢子ども科学財団の小中学生向けの数学授業を担当するなど、もともと教育に興味がありました。4年次の時に中高一貫校で教師を務める方とフィリピンに行つて現地の子どもたちに数学を教える機会があり、その方が「考える力」を大切に指導していたことに大変感銘を受けました。私自身もそんな教師になりたいと思い、大学院修了後、金沢市内の私立高校に就職しました。一番力を入れたところが「理数教育」だったため、星稜には中高一貫の理数コースがあり、自分の希望がかなえられると思い志望しました。

また、課外活動では「ボードゲーム同好会」の顧問も務めています。この同好会は、生徒たちに「考える力」をつけてほしいとの思いから私が学校に提案し、今年4月から新たに発足したばかりです。もともと私自身がボードゲームファンで、生徒と教師という立場であってもブレでは和気あいあいとできるのがボードゲームのメリットです。それに加え、同好会活動を通して考えることの大切さを学べる機会を増やしたい、そう展望を抱きながら指導しています。

これからの学校での教育を通して、一人でも多くの優秀な人材が育ち、学園の建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」が実現できるように生徒が巣立ってくれるよう、精一杯手助けをしていきたいです。

生徒同士でコミュニケーションして考えられる機会を増やしたいと思い、グループディスカッションは積極的に実施しています。



★大短★ 「星稜の笑顔の架け橋」を開催しました。

大学・短大部では、第4次中期計画（2024-2028）において、「能登半島の創造的復興とともにあゆみ、地域創生に貢献する全学的な取り組みを推進する」という目標を加えました。その取り組みの一環として、「星稜の笑顔の架け橋」を6月8日（土）～9日（日）の2日間にわたって開催しました。

「星稜の笑顔の架け橋」をスローガンに、義援金の受付や、能登地区からのキッチンカー出店や輪島朝市をはじめとした特産物の販売、学生団体や企業等による模擬店や体験型イベント、ステージ企画、チャリティーお笑いライブを行い、2日間で約2500人にご来場いただきました。能登地区からお越しいただいた中学生以下のお子様がいるご家族には、食事券とお笑いライブ無料入場券をプレゼントし、楽しんでいただきました。

この「星稜の笑顔の架け橋」は学友会執行部と事務局が共同で発案し、毎年秋に開催する「流星祭」の実行委員や学生赤十字奉仕団のメンバーも運営に携わりました。部活・サークルにも協力の輪が広がり、流星祭でも大好評のダンスパフォーマンスやライブ、ミニコンサートが屋外ステージで行われ、学生たちが会場を盛り上げました。また、金沢市を拠点に活動するアイドルグループによる特別ライブや、大人気ヒーローによる迫力満点のショー、チャリティーお笑いライブも開催。企業による展示コーナーや企画ブースも賑わい、来場者が笑顔でイベントを楽しむ様子が見られました。

学生団体の模擬店の利益、イベントのチケット収入、皆様からお預かりした義援金（合計1,009,393円）を7月25日（木）、日本赤十字社石川県支部に贈呈しました。令和6年能登半島地震の災害復興支援に役立てていただきたいと思います。ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました！



★大★ 「チーム星稜」 短 百万石踊り流しに参加しました。

「第73回金沢百万石まつり」の行事の一つである「百万石踊り流し」に、今年も大学・短大生と留学生、教職員、附属幼稚園の園児保護者の総勢150人で「チーム星稜」として参加しました。

「百万石踊り流し」には、金沢市内の企業・団体グループ65チームが参加、飛び入りコーナーをあわせ約8000人が、会場となった南町・香林坊片町のメインストリートに色とりどりの浴衣や法被を着て集結。沿道にもたくさんのお客が客や応援に駆けつけた約7000人の観客が埋め尽くしました。中には「チーム星稜」の活躍をひと目見ようと訪れた在学生や卒業生の姿もありました。

5月から練習してきた「ふれあい音頭いいね金沢」「金沢ホーヤネ」「百万石音頭」を披露し、他団体の方々ともエールを送りあいながら約2時間踊り歩き、学生たちの笑顔と星稜カラーが金沢の夜を彩りました。



★大★ 穴水町での 炊き出しボランティアで地域貢献！

8月3日(土)～4日(日)、キャリア教育の一環で、初の※ソレイユプロジェクト「能登復興炊き出しボランティア」を実施しました。

実施1カ月前から、4チームのグループを結成し、買い出しや看板の作成などの準備を進めてきた3年次有志37名の学生。

猛暑の中、開始時間前から多くの地元の方に並んでいただき、炊き出し各300食(冷やしうどん、フルーツポンチ、フランクフルト)の提供や支援物資の寄付を行いました。会場に足を運んでくれた方からの「ありがとう!」「おいしかったよ!」などの声や笑顔に、「実施して良かった」「少しでも復興に携われた」とやりがいを感じた学生たちでした。

※ソレイユプロジェクトとは、学生時代に挑戦・企画・実践して成長することを目的として、今年発案されたプロジェクトです。「ソレイユ」とはフランス語で「太陽」という意味です。学生が就活生になるまでのキャリア教育として、仲間と協働することで働き方の実践意識を高め、太陽のような光り輝く人間力を培います。



★大★ 国際大会・ 全国大会出場！

■全日本学生空手道選手権大会
谷口 魁(経営学科4年次)
中谷 翔貴(スポーツ学科4年次)
■全日本学生剣道選手権大会
三津田 光紀(経済学科3年次)
澤森 清孝(経済学科1年次)

■トランポリン

2024パシフィック・リム選手権大会
都竹 奏翔(スポーツ学科1年次)
■トランポリンアジア選手権大会
井関 駿太(スポーツ学科4年次)
秦 颯士(スポーツ学科4年次)
美田 靖文(スポーツ学科2年次)

■全日本トランポリン競技 年齢別選手権大会

豊後 輝道(スポーツ学科4年次)
山崎 凌空(スポーツ学科3年次)
伊吹 千夢(スポーツ学科2年次)
今本 修成(スポーツ学科1年次)

■トランポリンワールドカップ コインブラ大会

澤田 守杏(スポーツ学科1年次)
■全日本学生
トランポリン競技選手権大会

■井関 駿太(スポーツ学科4年次) 秦 颯士(スポーツ学科4年次)

豊後 輝道(スポーツ学科4年次)
山崎 凌空(スポーツ学科3年次)
伊吹 千夢(スポーツ学科2年次)

■木村 心春(スポーツ学科2年次) 美田 靖文(スポーツ学科2年次)

■今本 修成(スポーツ学科1年次) 澤田 守杏(スポーツ学科1年次)

■澤田 守杏(スポーツ学科1年次) 澤木 翔陽(スポーツ学科1年次)

■U20日本陸上競技選手権大会

■澤木 翔陽(スポーツ学科1年次)

■澤田 守杏(スポーツ学科1年次)

■今本 修成(スポーツ学科1年次)

■美田 靖文(スポーツ学科2年次)

■木村 心春(スポーツ学科2年次)

■伊吹 千夢(スポーツ学科2年次)

■山崎 凌空(スポーツ学科3年次)

■豊後 輝道(スポーツ学科4年次)

★ 高 第63回入学式を挙行了しました。

4月8日(月)、第63回入学式を挙行了しました。式では在校生を代表して生徒会長の角口博葉さんが歓迎のことばを述べました。また、481名の新入生を代表して中川真志さんが、本校の建学の精神である「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を胸に、互いに高めあいながら高校生活を歩んでいきたい、と意気込みを述べました。期待に胸を膨らませ、それぞれの夢や目標に向かって、高校生活の第一歩を踏み出しました。



★ 高 遠足に行ってきました！

5月2日(木)、1年生は金沢散策、2年生は長浜市黒壁スクエア、3年生は飛騨高山に行ってきました。新しいクラスになってからの最初の行事に生徒たちは遠足を満喫していました。また、4月のホームルームで行ったタブレットを使用した現地調査や、普段の活動の成果を発揮する場ともなりました。この深まった仲をこれからの生活にも生かしクラスの雰囲気を作り、思いにしたいと思っています。



★ 高 避難訓練を行いました。

5月24日(金)、中学校・高等学校の全学年を対象とした避難訓練を行いました。今回は地震と火災の両方を想定した避難訓練となりました。今回は全校生徒が非常時の経路・注意事項を確認できました。生徒たちは迅速な行動を心掛けて、注意事項を守って避難していました。



★ 中 春の遠足に行ってきました！

5月2日(木)、春の遠足に行ってきました。1年生は河北郡の河愛の里で里山体験、2年生は加賀フルーツランドでBBQと尾小屋鉱山で研修、3年生はゆのくにの森で伝統工芸品づくりや山中温泉街・鶴仙溪散策、各学年大変充実した遠足となりました。新しいクラスでの初めての行事でしたが、バスの移動中や活動中にゲラゲラと笑う楽しそうな様子が見られました。



★ 高 高校2・3年生 自転車安全教室を受講しました。

4月9日(火)、始業式の後、2年生と3年生は、本校第一体育館で自転車安全教室を受講しました。東部自動車学校の水谷郎氏をお招きし、自転車に関して留意すべきこととお話いただきました。今回は、代表生徒に自転車に乗っていきつといた瞬間や気を付けたいと思うことなどを聞きながら、インタビュー形式でお話いただきました。注意すべき点はもちろん、当たり前のことを守ることの大切さを再認識できました。



★ 高 県高校総体・総文激励会を行いました！

5月17日(金)、石川県総合体育大会・総合文化祭の激励会を行いました。校長、生徒会からの激励と全校生徒による応援を受け、3年生部員を代表し、男子ソフトボール部主将の西田さんが「感謝の気持ち忘れずに、仲間を信じて星稜らしく最後まであきらめず、プレースタイルを力強く健闘を誓いました。」



★ 高 体育大会を行いました。

7月18日(木)、19日(金)、体育大会を行いました。サッカー、バレーボール、バドミントン、バスケットボール、卓球など、多数の競技を行いました。暑い中での大会となりましたが、熱中症対策の上、生徒たちはクラス一丸となって勝利を目指し、全力で、そして楽しんでプレーしていました。



★ 中 1年生 オーケストラ鑑賞会に行ってきました！

6月5日(水)、1年生は石川県立音楽堂にて行われた、オーケストラ鑑賞会に参加しました。指揮・松井慶太氏、オルガン・黒瀬恵氏、管弦楽・オーケストラ・アンサンブル金沢により演奏され、ベートーヴェン交響曲第5番「運命」より第1楽章などを鑑賞しました。クラシックだけでなく普段聴いている音楽がオーケストラの方々によって演奏されることで、その音色の違いや素晴らしさを体験できました。



★ 金沢東ジュニアイーグル隊に 委嘱されました！

6月14日(金)、本校にて金沢東警察署生活安全課の方による「金沢東ジュニアイーグル隊」委嘱状交付式を行いました。生徒を代表して3年生の真下一郎さんが少年非行防止、犯罪被害防止に努めていくと決意表明しました。今後は本校生徒会と生活委員が中心となって活動していきます！



★ 2年生 小坂町の 地域安全マップを作成中！

6月19日(水)・20日(木)、2年生が総合(社会)の授業で金沢市小坂町の地域安全マップを作成するボランティア活動を行いました。各クラス2班に分かれ計画していたルートを歩き、地図作成のために危険と思われる箇所をタブレットで撮影していました。普段注目しない小さな気づきから、自分たちの通学路や学校周辺のことを深く知る機会になりました。今回の活動をふまえ、2学期に地図を作成し学校内で披露する予定です。



★ 3年生 食品ロスについて 学びました！

7月2日(火)、3年生進学コースを対象にいしかわフードバンク・ネットワーク理事の青海万里子氏をお招きし、食品ロスに関する講座を受けました。世界と比較した日本の食品ロスの現状を知り、自分たちが今できることを考える時間になりました。受講後、学校全体に食品ロスの削減を呼びかけ、食品や日用品の寄付を募るフリードライブ活動を行いました。



★ 2年生 金沢素囃子鑑賞会に参加！

7月2日(火)、2年生が石川県立音楽堂・邦楽ホールで行われた、金沢素囃子鑑賞会に参加しました。金沢素囃子保存会の皆さんによる演奏と、途中、演奏や楽器についての詳しい解説もありました。「素囃子は和楽器のオーケストラ」という説明もあり、日本の伝統文化を身近に感じる素晴らしい時間となりました。



★ 3年生 観能教室に参加しました！

7月5日(金)、石川県立能楽堂で行われた第75回観能教室に参加しました。能「羽衣」と狂言「附子」を鑑賞し、登場人物の動きや話し方、地謡、囃子との調和などを学びました。生徒たちは事前学習で学んだことを振り返りながら、金沢と馴染み深い伝統文化にたつぷりと触れる貴重な時間を過ごすことができました。



★ 『ユニクロ・GU 届けよう、 服のチカラプロジェクト』に参加！

7月9日(火)、3年生進学コースを対象に、ユニクロ・GUの細川氏に「届けよう、服のチカラ」についての出張授業を実施していただきました。今回はプロジェクトの目的や背景を理解し、自分たちにもできる社会貢献について考える機会となりました。2学期に、自分たちでアイデアを出して子ども服の回収を校内に呼び掛けていく予定です。



★ 中高 4月からの主な部活動成績

【星稜高等学校】

- 第71回 四高旗争奪 石川県高等学校春季剣道大会
・男子 第3位
令和6年度 金沢地区高等学校バドミントン選手権大会
・女子団体 第3位
令和6年度 石川県高等学校ソフトボール春季大会
・男子の部 優勝
令和6年度 石川県高等学校春季弓道大会
・女子団体 第3位
第85回 石川県陸上競技選手権
・男子200m 第1位 清水 空跳
・女子200m 第2位 石本 愛佳
・女子800m 第1位 倉島 志津稀
・女子800m 第2位 道見 日和
・女子800m 第3位 中村 沙耶
・女子走幅跳 第3位 喜多 陽香
・女子やり投 第3位 喜多 陽香
・女子4×100mR 第1位 表 陽向、清水 あさみ、石本 愛佳、喜多 陽香

第85回 石川県陸上競技選手権

- | | | | |
|------------|-----|-----|-----------------------|
| ・男子100m | 第2位 | 清水 | 空跳 |
| ・男子110mH | 第2位 | 奈良本 | 圭亮 |
| ・女子400m | 第2位 | 倉島 | 志津稀 |
| ・女子1,500m | 第1位 | 辻本 | ひび |
| ・女子1,500m | 第2位 | 道見 | 日和 |
| ・女子三段跳 | 第3位 | 安田 | 心 |
| ・女子4×400mR | 第1位 | 中村 | 沙耶、道見 日和、松山 桜彩、倉島 志津稀 |

第150回 北信越地区 高等学校野球石川県大会

第11回 全日本トランポリン競技 年齢別選手権大会

- | | | | |
|---------|-----|----|----|
| ・AGE3男子 | 第1位 | 中井 | 大翔 |
| ・AGE4男子 | 第1位 | 松岡 | 龍吾 |
| ・AGE4男子 | 第4位 | 田山 | 雄貴 |
| ・AGE2女子 | 第2位 | 大熊 | 七翠 |
| ・AGE3女子 | 第2位 | 塚本 | 莉子 |
| ・AGE4女子 | 第1位 | 南 | 奈奈 |
| ・AGE4女子 | 第2位 | 大藤 | 彩 |

アジア年齢別大会

- AGE3男子 第2位 神山 空駕
- 令和6年度石川県高等学校総合体育大会バドミントン競技
- 女子学校対抗 第3位

令和6年度石川県高等学校総合体育大会

第77回石川県高等学校陸上競技対校選手権大会

- 男子トラック 第1位
- 男子フィールド 第1位
- 男子総合 第1位
- 男子100m 第1位 清水 空跳
- 男子110mH 第1位 奈良本 圭亮
- 男子110mH 第3位 吉田 虎ノ介
- 男子200m 第1位 清水 空跳
- 男子800m 第2位 水谷 慧士
- 男子800m 第3位 濱野 拓弥
- 男子走幅跳 第2位 吉森 匠柁
- 男子三段跳 第3位 濱野 翔琉
- 男子砲丸投 第2位 門田 育知
- 男子やり投 第2位 横川 徹成
- 男子八種競技 第1位 奈良本 圭亮
- 男子4×100mR 第1位 横川 徹成、清水 空跳

- 男子4×400mR 第1位 能澤 壮太、奈良本 圭亮
- 濱野 拓弥、清水 空跳
- 水谷 慧士、奈良本 圭亮

- 女子トラック 第1位
- 女子フィールド 第2位
- 女子総合 第1位
- 女子100m 第1位 表 陽向
- 女子100m 第3位 清水 あさみ
- 女子100mH 第3位 喜多 陽香
- 女子200m 第2位 清水 あさみ
- 女子400m 第1位 倉島 志津稀
- 女子800m 第1位 倉島 志津稀
- 女子800m 第3位 道見 日和
- 女子1,500m 第1位 道見 日和
- 女子1,500m 第2位 辻本 ひまり
- 女子3,000m 第1位 辻本 ひまり
- 女子5,000mW. 第1位 北川 結菜
- 女子走幅跳 第1位 喜多 陽香
- 女子走幅跳 第2位 表 陽向
- 女子三段跳 第1位 安田 心
- 女子三段跳 第3位 川合 優那
- 女子やり投 第2位 喜多 陽香
- 女子4×100mR 第1位 大熊 杏美、清水 あさみ

- 女子4×400mR 第1位 表 陽向、喜多 陽香
- 松山 桜彩、道見 日和
- 辻本 ひまり、倉島 志津稀

第60回全国高等学校将棋選手権大会 石川県大会

- 男子個人の部 第3位 畠 爽流
- 男女個人B 第1位 横山 竜
- 男女個人B 第2位 荒木 奏汰
- 男女個人B 第3位 田中 遊

第48回全国高校囲碁選手権大会石川県大会

- 男子団体戦 第2位 池辺 護、澤本 直輝
- 伊藤 翼
- Bリーグ 第3位 澤本 直輝
- Cリーグ 第1位 中川 真志

第44回石川県高等学校総合文化祭邦楽合同発表会

- 箏曲部門 優良賞 星稜高等学校
- 令和6年度石川県高等学校総合体育大会 テニス競技
- 女子団体 第3位 日向 ほの花、新保 結菜
- 寺田 伊織、末田 奈都
- 春木 優里奈

第26回石川県高等学校ゴルフ選手権大会

- 男子団体の部 第2位 石川 大晴、濱谷内 俊太
- 宮坂 知宙
- 男子個人の部 第2位 石川 大晴
- 女子団体の部 第2位 川崎 美鈴、橋本 栞
- 戸澤 紗希

第44回石川県高等学校総合文化祭

イングリッシュフェスティバルステージパフォーマンスの部

- 優秀賞
- 令和6年度石川県高等学校総合体育大会 弓道競技

- 団体男子の部 優勝
- 令和6年度石川県高等学校総合体育大会 空手道競技

- 男子団体組手 第3位
- 男子総合 第3位
- 女子団体形 第3位
- 女子団体組手 第2位
- 女子総合 第2位

令和6年度石川県高等学校総合体育大会 ソフトボール競技

- 男子の部 第1位

令和6年度石川県高等学校総合体育大会 トランポリン競技

- 男子団体 第1位
- 男子総合 第1位
- Aクラス個人男子 第1位 赤石 泰雅
- Aクラス個人男子 第2位 松岡 龍吾
- Aクラス個人男子 第3位 番所 駿斗
- 女子団体 第2位
- 女子総合 第2位
- Aクラス個人女子 第3位 南 栞奈

第150回北信越地区高等学校野球大会

- 第3位
- 令和6年度石川県高等学校総合体育大会 サッカー競技

- 男子の部 第2位

令和6年度北信越高等学校体育大会

第63回北信越高等学校陸上競技対校選手権大会

- 男子100m 第1位 清水 空跳
- 男子200m 第2位 清水 空跳
- 男子砲丸投 第6位 門田 育知
- 男子円盤投 第7位 門田 育知
- 男子八種競技 第2位 奈良本 圭亮
- 男子4×100mR 第2位 木下 淑仁、奈良本 圭亮

- 能澤 壮太、清水 空跳

- 女子400m 第1位 倉島 志津稀

- 女子800m 第2位 倉島 志津稀

- 女子800m 第3位 道見 日和

- 女子1,500m 第8位 道見 日和

- 女子走幅跳 第6位 喜多 陽香

- 女子走幅跳 第8位 表 陽向

- 女子4×100mR 第7位 石本 愛佳、清水 あさみ

- 表 陽向、喜多 陽香

第37回全国高校将棋竜王戦 石川県大会

- B級 第1位 中川 真志

令和6年度北信越高等学校体育大会

第34回北信越高等学校男子ソフトボール選手権大会

- 男子 第2位

【星稜中学校】

令和6年度金沢市中学校春季剣道大会

- 男子団体 第3位
- 男子個人2年生の部 第1位 大野木龍翔
- 男子個人2年生の部 第2位 丹尾和詩
- 女子個人3年生の部 第1位 竹田彩乃

金沢市中学校陸上競技大会

- 男子共通走幅跳 第4位 宗藤 煌
- 男子共通走高跳 第4位 升谷 一絆
- 女子共通1,500m 第5位 横山 莉沙子

第21回かほく市総合スポーツ大会 陸上競技

- 中学男子100m 第3位 宗藤 煌
- 中学男子1,500m 第3位 宗藤 舜
- 中学男子走幅跳 第1位 宗藤 煌

金沢市中学校春季競技大会 サッカー競技

- 第1位

金沢市中学校春季競技大会 軟式野球競技

- 第1位

第36回 春季加賀地区中学校野球大会

- Aブロック 第1位

第41回石川県ジュニアトランポリン競技選手権大会

- ハイクラス中学校男子の部 第3位 室野 尊
- ハイクラス中学校女子の部 第1位 大熊 七翠

第41回全日本少年軟式野球大会ENEOSトーナメント 石川県予選

- 第1位

第41回全日本少年軟式野球大会ENEOSトーナメント 北信越ブロック予選会

- 第1位

加賀地区中学校体育大会 兼県体予選会(北加賀ブロック) サッカー競技

- 第2位

石川県中学校体育大会

- 男子共通走幅跳 第3位 宗藤 煌

全日本中学校通信陸上競技石川県大会

- 男子1年 1,500m 第6位 宗藤 舜

- 男子共通 走高跳 第3位 宗藤 煌

令和6年度石川県中学校テニス大会

- 男子団体戦 第3位

- 男子シングルス 第2位 尾山 晏理

- 男子シングルス 第2位 渡辺 一颯

第62回 石川県中学校サッカー大会

- 第1位

【盆踊りコーナー】

園庭に設置したやぐらの周りを色とりどりの浴衣や甚平に身を包んだ子どもたちが「百万石音頭」「もったいない」「あさん音頭」のりまきべら音頭の3曲の盆踊りを楽しみました。「のりまきべら音頭」もったいないこととしてないかい」など曲に合わせた元気な掛け声が聞かれました。



【焼き鳥屋さん】

男☆ほしの会の方々が焼き鳥屋さんをオープンしました。こんがり焼けた食欲をそそるおいしそうな香りが漂い、お店の前には行列ができていました。



【製作コーナー】

魚やかき氷のうちわ製作をしました。お花紙を使って魚のうろこやかき氷をふわふわに仕上げ、かき氷の周りにはパイナップルやキウイなどの果物を貼って、オリジナルの涼しげなうちわが出来上がりました。万華鏡は千代紙を貼ったり、好きな絵を描いた紙を筒に巻きスパンコールを入れて仕上げました。「きれい!!」と何度も万華鏡をのぞいていた子どもたちです。



【ゲームコーナー】

星稜幼稚園や大学の広いスペースを借りて行われたゲームコーナーでは保護者が企画した「段ボールつむむ」へおもちやすくい」「くじ引き」「ストラックアウト」「風船ヨーヨー釣り」を楽しみ、子どもたちからは「楽しい!」「段ボールのゲーム1番だったよ!」などの元気な声が聞かれました。



【フォトスポットコーナー】

園内と大学に設置した4か所のフォトスポットコーナー。ご家族、お友達同士で楽しそうに何枚も記念写真を撮っていました。



【フナネコぐんだんクッキー販売コーナー】

星稜幼稚園教職員手作りのクッキーを販売しました。夏祭りが始まると早速お店の前には大行列。大人気のフナネコぐんだんクッキーでした。



☆幼稚園バスがリニューアルしました☆

幼稚園バスのラッピングが新しくなり「バスが新しくなったね」「かわいいわね」「乗ってみたいわね」とうれしそうに話している子どもたち。みんなのお気に入りの新しいバスに乗って兼六園へお花見に行ったり、大乗寺にあじさいを見に園外保育へ出かけました。今後も四季の移り変わりを感じながら、遊びの広がりや子どもたちの興味・関心に合わせた活動として、幼稚園バスで園外保育に出かけたいと思います。



☆プール開き☆

「すごい！」と見た人が皆びっくりする可動式機能が付いた星稜幼稚園の屋内プール。ボタン1つで水深が30cmから80cmまで上下に可動します。プール遊びの後は「また明日もプールに入りたい！」と何度も話している子どもたちです。



☆ウッドデッキを生かして☆

こども園のウッドデッキでは、季節によって様々な遊びが展開されています。春は風の心地よさを感じ、小鳥のさえずりを聴きながらゆつくりと外の景色を眺め、夏はサンシェードで日陰をつくりながら水遊び。ひんやりとした水の冷たさを感じながら解放感いっぱい遊ぶ子どもたちは、太陽よりもまぶしい笑顔を見せています。

これから秋になるとトンボが飛んできてフェンスにとまり、手を伸ばすと飛んでいく様子に目を丸くし、冬は真っ白に積もった雪の感触を楽しみながら雪遊びが始まります。一年を通して豊かな感性と探求心を育みながら毎日過ごしています。





☆親子でトレインパーク白山へ☆

6月28日(金) 年長児の親子がトレインパーク白山へ遠足に行きました。「こちよこちよ電車」の手遊びやフープくぐりなどで、親子での触れ合いを楽しんでから館内で遊びました。あそびのエリアでは、ボルダリングやネット、滑り台などの遊具で遊んだり、床の線路を友達と電車になって走ったり、壁面に泳ぎ回る海の生き物にタッチすると魚が集まってくるというデジタルアートラクションも体験しました。見学エリアで新幹線の点検・整備の様子や、展望エリアで新幹線が走っていく様子も見ることができました。親子で楽しい時間を過ごしました。



☆ラディッシュを栽培して収穫☆

年中児は5月の初めにラディッシュの種を植えました。「おおきくなれ」と願いを込めながら水やりをしたり周りの草をとったりして成長を楽しみにしていました。青虫の赤ちゃんに葉っぱを食べられて葉っぱは大きくなりましたが、6月に入り収穫ができるようになりました。取れたてのラディッシュを食べてみると瑞々しく「からい」「とうがらしみたい」と言いながらも自分たちで育てたラディッシュに満足しているようでした。



☆初めてのリトミック☆

年少児がリトミックを体験しました。講師の先生の言葉やピアノに合わせてヘビやウサギなどの動物になりきって表現し、友達と顔を見合わせながら一緒に楽しんでいました。珍しい楽器にも触れ、一人ずつ太鼓をたたいてみたり、卵型のマラカスを鳴らしたり、いろいろな音を体感しました。リトミックの世界でいろいろなものになりきり自由な表現を楽しんでいました。



☆水遊び☆

1歳児と2歳児の水遊びでは、金魚すくいや魚釣り、色水遊びや水鉄砲などで、水の感触を楽しんでいます。金魚すくいでは、ポイを使って上手にすくってカップに入れ、いつばいになったカップを自慢げに見せてくれます。色水遊びでは、色を混ぜ合わせてジュース作りをしています。ジュース屋さんになって「ぶどうジュースです」「いちごジュース」とイメージがふくらんでいます。



星 稜 Pick up

文部科学省「大学・高専機能強化支援事業」に選定

令和6年度「大学・高専機能強化支援事業」（支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）に、本学が申請した「地域の創造的復興を支える文理融合型人材育成を目的とした金沢星稜大学総合科学部の設立」が、このたび選定されました。

今後、当該構想の具体化を進め、詳細が決定し次第、本学WEBサイト等で公開いたします。

※学部等名称や設置の時期等は、現時点では全て予定であり、今後変更する可能性があります。

2024年度 各校在籍者数一覧

学校 学部・学科名等 年月・学年等		大学院 経営戦略研究科	大 学							短大部 経営実務科	高校 普通科	中学校	大学附属星稜幼稚園	大学附属星稜泉野幼稚園	星稜こども園
			経済学部			人間科学部		人文学部	計						
			経済学科	経営学科	地域システム学科	スポーツ学科	こども学科	国際文化学科							
収容定員	5,597	20	1,030	645	85	300	272	300	2,632	300	1,920	360	(利用定員) 210	(利用定員) 140	(利用定員) 19
5月1日 現在	0歳児												4		0
	1歳児												29	11	4
	2歳児(満3歳児含む)												26	7	3
	1年(年少)	6	259	182	62	75	83	77	738	90	481	89	53	21	
	2年(年中)	8	280	188	—	81	70	68	687	103	532	96	40	30	
	3年(年長)		291	167	—	79	89	69	695		562	97	53	38	
	4年		271	185	—	76	65	77	674						
計	5,170	14	1,101	722	62	311	307	291	2,794	193	1,575	282	205	107	7

陸上競技部 清水 空跳さん 高校1年生日本歴代1位の記録で優勝!

7月15日(月)、国民スポーツ大会陸上競技石川県予選会において少年男子B100mで高校1年生日本歴代1位、高校日本歴代9位、U18今季世界リスト2位となる10秒26という記録を出し、優勝した陸上競技部の清水 空跳さんにインタビューしました。



Q1. 新記録を樹立した時の気持ちを教えてください。

A. 決勝で10秒30台を目標にレースに挑みましたが、それを超える10秒26が出て、うれしい気持ち以上に自分自身に驚きました。

Q2. 記録を更新するために意識していたことはありますか？

A. 北信越ではスタートの反応が悪くスピードが出にくかったので、スタートで足を膝下にしっかり接地して体重をのせ込むということを意識しました。

Q3. 試合前に行っているルーティーンなどがありますか？

A. レース直前では無駄に動かずにストレッチをして体を緩まさせています。

Q4. メンタル面での強化方法やリラックス方法を教えてください。

A. いつもみんなが応援してくれていると思ったり、自分が一番だと思ったりすることで、気持ちを落ち着かせています。

Q5. 陸上競技を始めたきっかけは何ですか？

A. 家族全員が陸上競技で全国大会を経験していたこともあり、自分もそうなりたいと思い、家族のすすめで始めました。

Q6. 家族のサポートや影響はどのようなものがありますか？

A. 実家が寿司屋ということもあり、魚などの美味しいものをたくさん食べています。

Q7. 将来の目標や夢を教えてください。

A. インターハイに出場して100m・200mで優勝することと、2028年のロサンゼルスオリンピックに出場することです。

Q8. 目標や尊敬している人はいますか？

A. 100m 200mともに高校日本歴代記録を出した桐生選手や柳田選手のように、高校から輝き続ける選手になることです。

Q9. 座右の銘を教えてください。

A. “過去の栄光に縋るな、楽しいことを好きなだけする”をモットーにしています。

Q10. 最後に、応援してくれるファンや支えてくれる人たちへのメッセージをお願いします。

A. いつも応援やサポートいただきありがとうございます!これから世界で戦うために精一杯頑張るので同じ熱量で全力応援お願いします!

SDGs小論文&アクションプランコンテストにおいて、 本校の生徒が特別賞を受賞しました!

国際協力NGOが企画している未来型 海外ボランティア研修に本校の生徒がオンラインで参加し、SDGs小論文&アクションプランコンテストにおいて、本校の石黒 日人美さんが特別賞を受賞しました。『私たちの置かれている状況とこれから』というタイトルで、教育を受けられることへの感謝や、教師として子どもたちを教える際の表情や相槌、伝えることの大切さを強調したことが評価されました。



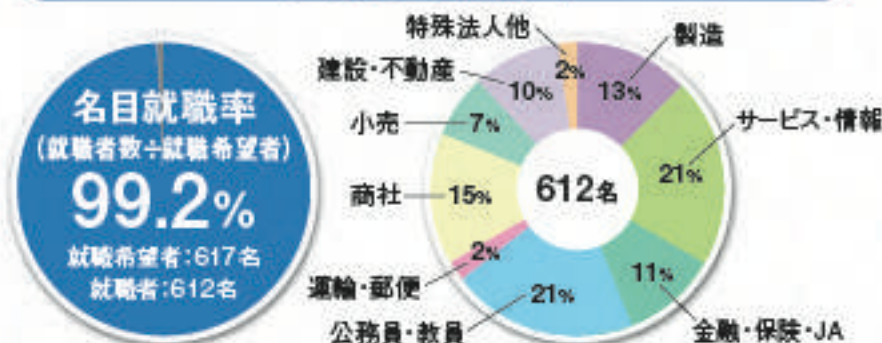
2023年度卒業生の進路について

大学・短大部・高校

2024年3月、大学647名・短大118名・高校506名の学生・生徒が卒業しました。

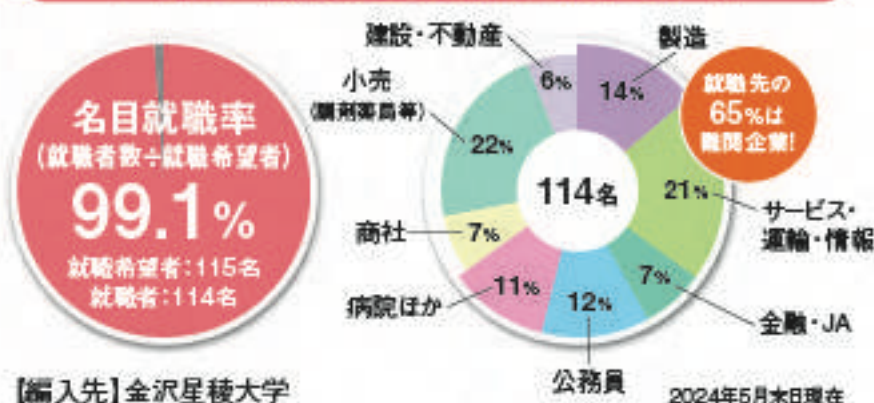
進学・就職に強い稲置学園。学校生活での学びを生かし、それぞれの舞台へ羽ばたきました。

金沢星稜大学



【主な進学先】上越教育大学大学院、北海道大学大学院、金沢星稜大学大学院
2024年5月末日現在

金沢星稜大学女子短期大学部



【編入先】金沢星稜大学

主な就職先

大学【製造】株式会社金沢村田製作所、YKK AP株式会社、株式会社PFU、小松マテレー株式会社、コマンシー株式会社、コマツNTC株式会社、ホクショー株式会社、三協立山株式会社、中村留精工業株式会社、加賀東芝エレクトロニクス株式会社、株式会社月星製作所【サービス・情報】株式会社JTB、株式会社日本旅行、株式会社マイナビ、株式会社NTTデータ北陸、株式会社石川コンピュータ・センター、NECネットエスアイ株式会社【金融・保険】日本銀行金沢支店、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社ゆうちょ銀行、株式会社北陸銀行、株式会社福井銀行、東京海上日動火災保険株式会社、損害保険ジャパン株式会社、全国労働者共済生活協同組合連合会、全国共済農業協同組合連合会石川県本部【公務員・教員】国家一般職(石川労働局、金沢地方方法務局など)、国税専門官(金沢国税局)、行政事務(石川県、富山県、金沢市など)、警察官(石川県、富山県)、消防士(かほく市など)、公立保育士(金沢市、小松市など)、公立小学校教員(石川県、富山県など)、公立中学・高校教員(石川県、富山県など)【運輸・郵便】西日本旅客鉄道株式会社、日本通運株式会社、株式会社上組、日本郵便株式会社【商社】株式会社PALTAC、カナカン株式会社、北陸電気株式会社、三菱電機住環境システムズ株式会社、富士フイルムビジネスソリューションジャパン株式会社【小売】イオンリテール株式会社、株式会社ニトリ、株式会社良品計画、スターバックスコーヒージャパン株式会社【建設】清水建設株式会社、大鉄工業株式会社、北陸電気工事株式会社、三谷セキサン株式会社【特殊法人他】日本赤十字社、日本年金機構、(株)国立病院機構、金沢商工会議所(順不同)

短大部【製造】造谷工業株式会社、EIZO株式会社、株式会社金沢村田製作所、株式会社江村田製作所、株式会社月星製作所、共和産業株式会社、株式会社ソディック【サービス・運輸・情報】株式会社JR東日本サービスクリエーション、西日本旅客鉄道株式会社、HYホテルマネジメント株式会社、日本通運株式会社、日本郵便株式会社、EIZOエンジニアリング株式会社、株式会社高志インテック、税理士法人中山会計、税理士法人島経営グループ【金融・JA】農信信用金庫、のと共栄信用金庫、石動信用金庫、金沢市農業協同組合、白山農業協同組合【公務員】国家一般職(石川労働局、金沢地方検察庁など)、行政事務(石川県、金沢市)、小中学校事務(石川県)【病院ほか】医療法人社団光仁会木島病院、社会医療法人財団聖仙会寿総合病院【商社】株式会社歯愛メディカル、株式会社さく、株式会社ミヤシゲ、株式会社ホンダモビリティ中部【小売】アルビス株式会社、株式会社アインホールディングス、チュールリップ調剤株式会社【建設】北陸ミサワホーム株式会社(順不同)

星稜高等学校

国公立大に139名合格!

★難関国立大:東京大学1名合格! 京都大学1名合格! 東京工業大学1名合格! ★金沢大(医学類)に6年連続合格!

★難関私立大:早慶MARCH 50名合格! 関関同立88名合格!

★医学部医学科:国立大学医学部4名合格! 私立大学医学部9名合格!

★地元国立大:金沢大学20名合格! 富山大学26名合格!

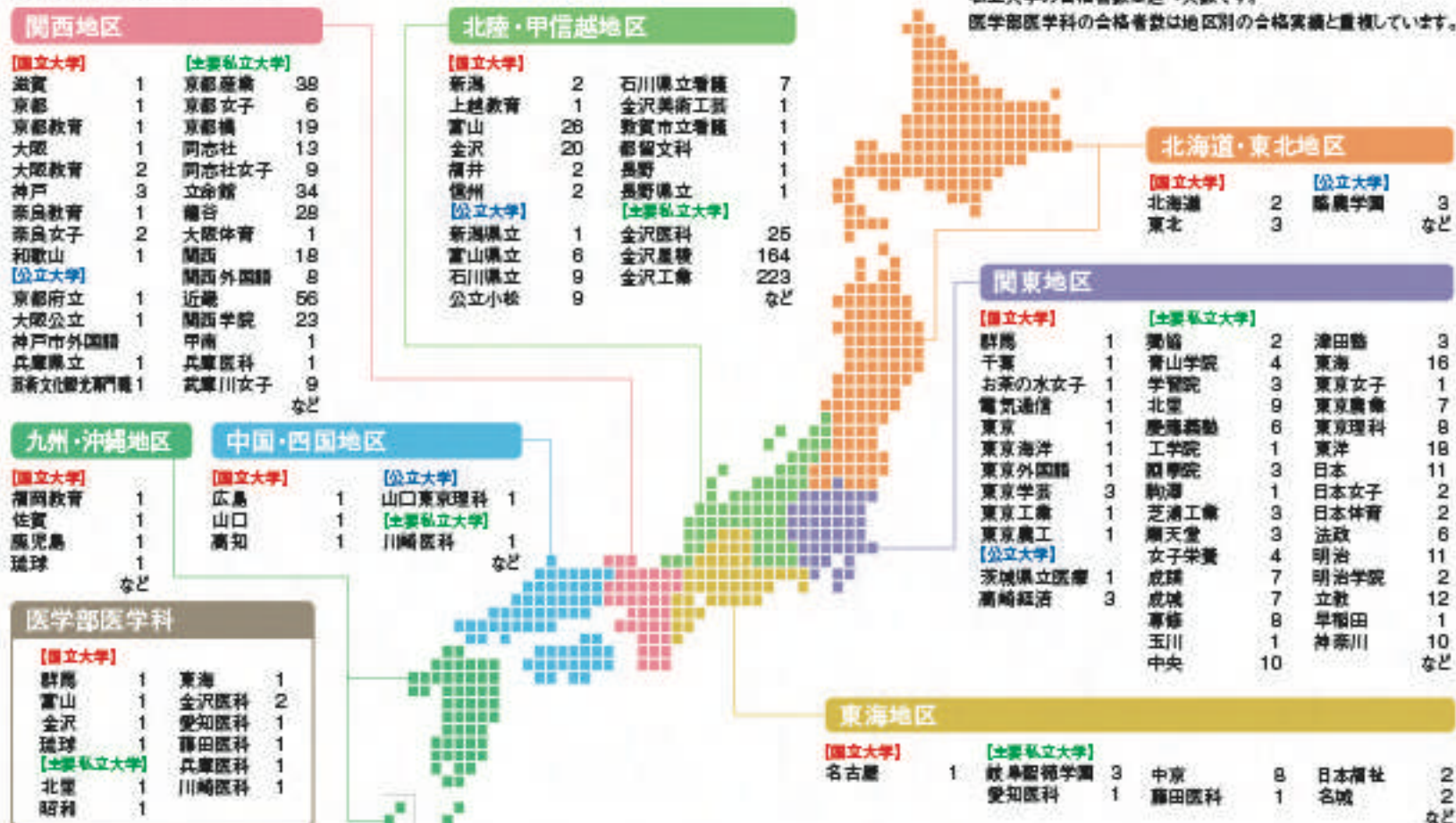
早慶——早稲田、慶應義塾

MARCH——M(明治)、A(青山学院)、R(立教)、C(中央)、H(法政)

関関同立——関西、関西学院、同志社、立命館

合格者数は2024年4月1日現在のものです。
私立大学の合格者数は延べ人数です。
医学部医学科の合格者数は地区別の合格実績と重複しています。

主要大学合格実績



さんしんで活躍する 「星稜」の卒業生



金沢信用金庫 小松・能美エリア
法人営業部
本郷 美沙
(星稜高等学校 第51期卒)

お客さまの“思い”の実現に向けて

私は星稜高校を2015年3月に卒業しました。
2019年4月に入庫してから、安原支店・額支店にて窓口での受付業務や個人営業として投資信託や保険の提案を通してコンサルティング業務を行ってきました。昨年度より小松中央支店の法人営業担当となり、小松市・能美市内の事業先を訪問し、「金融という仕事を通して地域経済の発展に貢献する」という経営理念の下、何かお客さまのお役に立てることはないかと日々考えながら、事業性融資やコンサルティングの提案を行っています。石川県の経済はコロナ回復期に差し掛かっていたところ、2024年元日に能登半島地震が起こったことで、冷え込みつつあるのではないかと感じています。まずは自分の担当しているお客さまの業況や日々の資金繰りについて耳を傾け、融資等の金融業務や補助金・助成金等の公的な制度の提案を通してお客さまに活力をもたらし、事業を支える手助けをしたいと考えています。そのために自分自身のスキルアップも必要だと感じ、日々勉強・業務にあたっています。

星稜高校に在学中は吹奏楽部に所属し、練習に明け暮れる生活を送っていました。定期演奏会やコンクールのため一生懸命練習に打ち込んだことや、野球部やサッカー部の応援のため演奏することもありました。当時は勉強との両立で大変苦勞し、練習ばかりの毎日を辛く思うこともありましたが、振り返るとやり遂げた達成感は今でも鮮明に覚えており、とても大切な思い出と感じています。私はコントラバスという低音楽器の担当でした。あまり目立つ音色ではありませんが、緑の下の方持ちのような存在で周囲を支える役割でした。吹奏楽は1人でできるものではなく、多種多様な楽器の音を奏で合いながら一つの音楽を作り上げますが、部活動を通して、たくさんの方と一緒に向かう楽しさや、現在の業務に生かしているところがあると感じています。

私はお客さまと面談する際に、事業をより良くするため「こういう風にしていきたい」「こんなことに困っている」等のお客さまの思いを聞くことに注力しています。ですがそのような思いに対して、私一人だけでは良い解決方法を見つけれません。そのため、上司に相談し、本部の専門部署のアドバイスを受け、外部の連携機関と協力することで、お客さまの課題解決に一つ近づけることができます。私の法人営業担当としての経験値はまだまだ浅いですが、これからも引き続きお客さま一人ひとりにきちんと向き合い、お客さまに「まずはじめに相談したい」と思っていただけ担当者になれるよう精一杯取り組んでいきたいと思っています。

私は社会人になってからも、星稜高校を卒業した先輩方や後輩たちとたくさん出会いました。歴史のある「星稜」というつながりをとても誇りに感じます。これまでやこれから出会う人とのつながりを大切にすることを忘れず、今しかない学生生活を思い切り楽しんで下さい。



職員と家族の幸せ ＝ さんしんの幸せ

職員一人ひとりがキャリアアップを通してやりがいを感じ、家族と過ごす時間を大切にするのがさんしんの思い。そして、職員と家族の幸せこそがさんしんの幸せ。



さんしん 採用



総合研究所

SDGs産学地域連携センターだより



総合研究所

民間の助成団体などからの
資金を獲得し研究活動を行っている
先生方をご紹介します。

本学の外部資金の獲得は、科学研究費が圧倒的に多いですが、少数とはいえ民間の助成団体等からの外部資金も獲得しています。様々な専門分野を擁する民間団体や公的団体などから募集の案内が届きますが、このような機会に自身の専門分野を生かして申込をして採択されました。科学研究費と同様に魅力のある研究内容であるからこそ採択されるわけで、これを励みに外部資金の獲得増加を目指します。

今年に入って新規で採択された先生方とその研究課題名をご紹介します。

新谷 洋介 教授 (人間科学部) 3件

■中山雄雄科学技術文化財団

障害者のニーズを踏まえたアクセシブルなゲーム開発に関するガイドライン策定のための現状調査

■日本生命財団

特別支援学校の震災後の対応事例を基にした災害教育教材の開発

■北海道大学 情報基盤センター

適切なライセンスや利用に留意した生成AIの教育利用

佐藤 将 講師 (経済学部) 1件

■中部大学 国際GISセンター

デジタルアースで創る持続可能な里地里山
—地域課題の解決と生態系の保全—

寺嶋 雅彦 講師 (教養教育部) 1件

■上廣倫理財団

オプティミズムとペシミズムの統合としての「積極的諦念」という生き方
—G.W.ライプニッツの「予定調和」と「最善世界論」から帰結する「積極的諦念」という解釈の強化と現代倫理学におけるその位置づけの萌芽的探索—

二口 聡 講師 (教養教育部) 1件

■中山雄雄科学技術文化財団

非ゲーム世代を対象としたゲームチュートリアル講座の開発

平泉 沙由里 助教 (短期大学部) 1件

■日本私立学校振興・共済事業団 (若手・女性研究者奨励金)

創業期の地方の起業家に必要とされる人的ネットワークについて



SDGs産学
地域連携センター



総合研究所

「地域連携による地域貢献活動」推進事業

- ◇経済学部 石川美澄 教授
「津幡町河合谷地域活性化プロジェクト」
- ◇経済学部 石川美澄 教授
「高大連携による観光実践プロジェクト」
- ◇経済学部 佐藤将 講師
「地域資源をWEBに残すウィキペディアタウンプロジェクト」
- ◇経済学部 牧野耀 准教授
「白山市の持続的発展に向けたデザインとマーケティングの実践活動」
- ◇人間科学部 丸井一誠 准教授
「身体教育の在り方を考える—仮想空間における身体知の形成に関する教員及び学生との探究的活動—」
- ◇人間科学部 連桃季恵 講師
「令和6年能登半島地震で被災した保育園等において“楽しさ”を届ける活動」
- ◇人文学部 高原幸子 准教授
「金沢市をフェアトレードタウンにする活動」
- ◇人文学部 前田昌寛 准教授
「志賀町小学生英語教育実践プロジェクト+ (プラス)」

「星稜ジャンプ地域活動プロジェクト」活動団体

- 食☆活 (子ども支援活動)
- SMC (SEIRYO Movie Creators)
- コスメティックベコリン♡
- のとプロ
- ひかるさつまいも
- こどもとSDGs
- Kam
- 七尾市大呑地域活性化プロジェクト
- GFEP
(グリーン・フューチャー・エデュケーション・プロジェクト)
- ITCSP
(Ishikawa Traditional Crafts Spread Projects)
- バーチャルワールド探検隊

SDGs産学 地域連携センター

2024年度

「地域連携による地域貢献活動」推進事業、
星稜ジャンプ地域活動プロジェクト始動！

本学では教育研究の推進と地域貢献活動の活性化のため、「地域連携による地域貢献活動」推進事業（地域貢献事業）及び星稜ジャンプ地域活動プロジェクト（ちいプロ）にて学生団体へ助成を行っています。2024年度において、地域貢献事業8件、ちいプロ11件の計19件が採択されました。

各活動については大学・短期大学部ホームページにて随時発信を行います是非ご覧ください。

2023年度 財務の概要

【学校法人・学校法人会計とは】

学校法人とは、学校教育法・私立学校法の定めるところにより、私立学校の設置を目的として設立された法人です。一般に、企業は利益を追求することを目的としますが、学校法人は独自の理念に基づいて教育・研究活動を行い、その成果を社会に還元することを目的としています。したがって、学校法人はきわめて公共性の高い経営主体であるといえます。

それゆえに、学校法人は安定性・継続性（永続性）をもって教育・研究活動を行うことを求められます。たとえば、施設設備などの必要不可欠な資産の維持・充実は、自己資金で行わなければなりません。他方、学校法人は、私立学校振興助成法の定めるところにより、国または地方公共団体から教育の振興上必要な助成を受けることができます。

こうした特性を踏まえ、学校法人が適正な会計処理を行うための基準として制定されたのが「学校法人会計基準」です。国または地方公共団体から助成を受ける学校法人は、この基準に則って会計処理を行い、会計年度ごとに財務計算に関する書類を作成し、所轄庁に届け出ることが義務付けられています。また、このほかに収支予算書、公認会計士または監査法人の監査報告書を届け出なければなりません。

このように、学校法人会計には、学校経営の健全性を測定し財政基盤の安定に資すると共に、公教育を担う学校法人の経営状態について社会に開示するという目的があります。

【資金収支】

企業会計の「キャッシュ・フロー計算書」に相当します。学校法人のキャッシュ・フローの状況を把握することができます。（単位：千円）

科 目		2023年度	科 目		2023年度
収入の部	学生生徒等納付金収入	4,258,565	支出の部	人件費支出	3,233,643
	手数料収入	92,171		教育研究経費支出	1,751,944
	寄付金収入	17,980		管理経費支出	482,248
	補助金収入	1,507,199		借入金等利息支出	5,278
	資産売却収入	10,000		借入金等返済支出	105,550
	付随事業・収益事業収入	221,993		施設関係支出	352,371
	受取利息・配当金収入	38,674		設備関係支出	130,715
	雑収入	151,478		資産運用支出	3,648,399
	借入金収入	0		その他の支出	357,271
	前受金収入	303,141		資金支出調整勘定	△ 323,895
	その他の収入	3,579,962		翌年度繰越支払資金	3,512,727
	資金収入調整勘定	△ 386,001			
	前年度繰越支払資金	3,461,088			
	収入の部合計	13,256,254		支出の部合計	13,256,254

※単位未満を切り捨てしているため、合計が一致しない場合があります。

【事業活動収支】

企業会計の「損益計算書」に相当します。学校法人の事業活動ごとの収入・支出の内容とその均衡状態を把握することができます。（単位：千円）

科 目			2023年度
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	4,258,565
		手数料	92,171
		寄付金	20,377
		経常費等補助金	1,478,156
		付随事業収入	221,993
		雑収入	150,380
		収入の部計	6,221,646
	支出の部	人件費	3,285,743
		教育研究経費	2,173,047
		管理経費	606,061
徴収不能額等		0	
支出の部計		6,064,851	
収支差額		156,794	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	37,359
		その他の教育活動外収入	0
		収入の部計	37,359
	支出の部	借入金等利息	5,278
		その他の教育活動外支出	0
		支出の部計	5,278
	収支差額		32,080
経常収支差額		188,874	

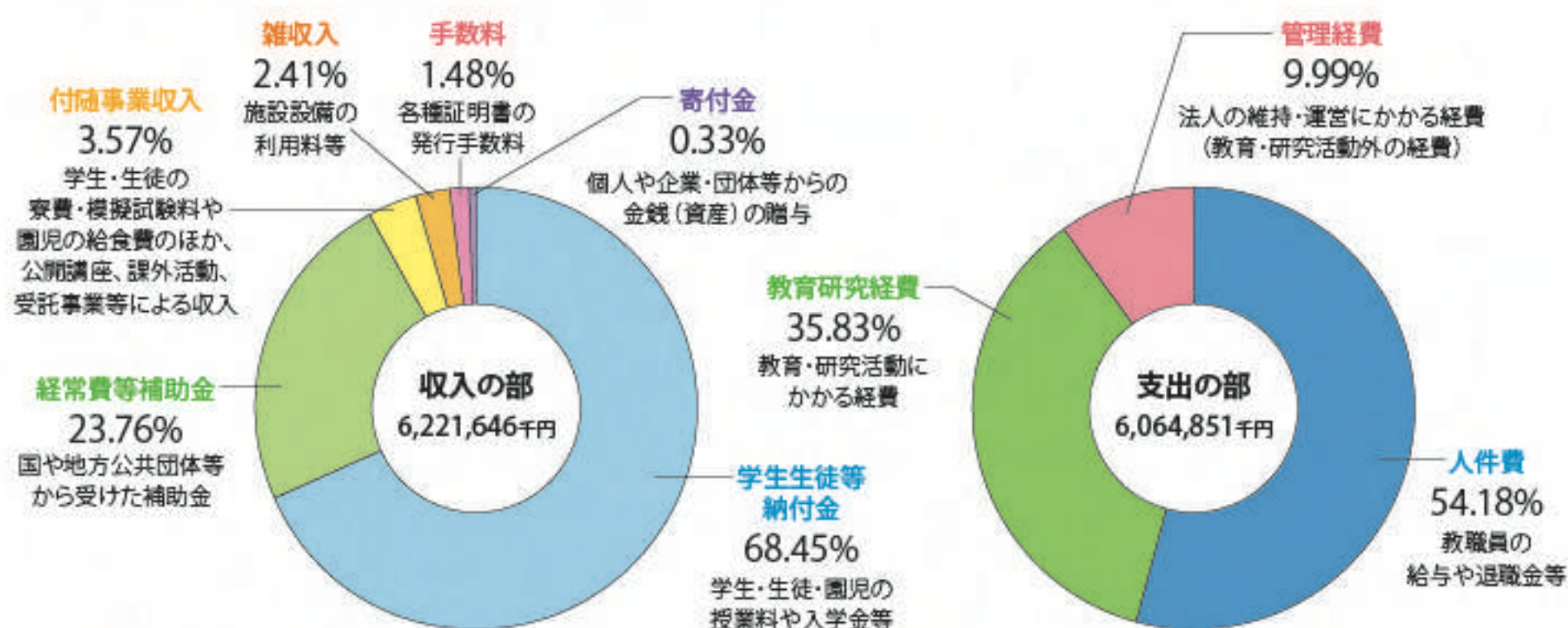
科 目			2023年度
特別収支	収入の部	資産売却差額	0
		その他の特別収入	32,632
		収入の部計	32,632
	支出の部	資産処分差額	29,760
		その他の特別支出	278
		支出の部計	30,038
	収支差額		2,594
基本金組入前当年度収支差額		191,468	
基本金組入額		△ 440,770	
当年度収支差額		△ 249,301	
前年度繰越収支差額		△ 3,670,467	
基本金取崩額		14	
翌年度繰越収支差額		△ 3,919,755	
事業活動収入計			6,291,638
事業活動支出計			6,100,169

事業活動収入は6,291百万円となり、前年度に比べ110百万円減少しました。これは学生生徒等納付金、寄付金、雑収入等が減少したことによるものです。事業活動支出は6,100百万円となり、前年

※単位未満を切り捨てしているため、合計が一致しない場合があります。

事業活動収入は6,291百万円となり、前年度に比べ110百万円減少しました。これは学生生徒等納付金、寄付金、雑収入等が減少したことによるものです。事業活動支出は6,100百万円となり、前年度に比べ75百万円増加しました。これは教育研究経費、管理経費等が増加したことによるものです。なお、基本金組入後の当年度収支差額は△249百万円となりました。

◆事業活動収支における教育活動収支グラフ



【貸借対照表】

企業会計の「貸借対照表」に相当します。学校法人の財政状態の健全性を把握することができます。

(単位：千円)

科 目	2023年度末
固定資産	23,358,176
有形固定資産	17,194,985
特定資産	5,470,740
その他の固定資産	692,450
流動資産	3,679,615
資産の部合計	27,037,792
固定負債	1,742,800
流動負債	769,830
負債の部合計	2,512,630

科 目	2023年度末
基本金	28,444,917
第1号基本金	27,317,917
第2号基本金	760,000
第3号基本金	—
第4号基本金	367,000
繰越収支差額	△ 3,919,755
純資産の部合計	24,525,162
負債及び純資産の部合計	27,037,792

※単位未満を切り捨てしているため、合計が一致しない場合があります。

総資産額は27,037百万円で、前年度に比べ133百万円増加しました。これは減価償却により固定資産が減少した一方で、大学新キャンパス用地造成により土地が増加したこと、特定資産が増加したことによるものです。総負債額は2,512百万円で、前年度に比べ57百万円減少しました。これは長期借入金の返済により固定負債が減少したこと、預り金等が減少したことによるものです。

【事業活動収支計算書関係比率】

(単位：%)

比 率	算 式	2022年度	2023年度	増 減
人件費比率	人件費 ÷ 経常収入	52.2	52.5	0.3
教育研究経費比率	教育研究経費 ÷ 経常収入	32.2	34.7	2.5
管理経費比率	管理経費 ÷ 経常収入	9.3	9.7	0.4
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 ÷ 経常収入	68.6	68.0	△ 0.6
経常寄付金比率	寄付金 ÷ 経常収入	0.6	0.3	△ 0.3
経常補助金比率	経常費等補助金 ÷ 経常収入	23.0	23.6	0.6
経常収支差額比率	経常収支差額 ÷ 経常収入	6.2	3.0	△ 3.2
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額 ÷ 教育活動収入計	5.9	2.5	△ 3.4

※経常収入＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

【貸借対照表関係比率】

(単位：%)

比 率	算 式	2022年度	2023年度	増 減
純資産構成比率	純資産 ÷ 総資産	90.4	90.7	0.3
総負債比率	総負債 ÷ 総資産	9.6	9.3	△ 0.3

※総資産＝負債の部合計＋純資産の部合計

◆財務の概要の詳細は稲置学園WEBサイトをご覧ください。

高等学校 入試概要

【入学試験について】

国語・数学・英語の基礎学力試験が受験科目となる推薦入試と、国語・数学・英語・理科・社会が受験科目となる一般入試があります。推薦入試は本校会場のみとなり、一般入試は本校・小松・白山・野々市・羽咋の5会場で実施されます。

【2025年度入学試験日程】

日 程	① 2025年1月12日(日) 推薦入試 ② 2025年1月31日(金) 一般入試
-----	--

募集要項などについては、本校WEBサイトをご確認ください。

高校：入学案内ページ

<https://www.seiryu-hs.jp/s/exam/>

※2025年度生徒募集要項は9月中旬以降に掲載予定です。



【秋の学校説明会】

日 程	① 2024年9月21日(土) ② 2024年10月12日(土) ③ 2024年10月19日(土)
-----	---

※ 全日程、親子50組の募集となります。

9:30受付 10:00~11:30で学校説明・入試概要説明・校舎見学を実施します。
定員になり次第締め切りとなります。

中学校・高等学校（中高一貫6年制教育）入試概要

【2025年度入学試験日程】※入試が変わります。

日 程	2025年1月6日(月)
募集定員	108名 → 140名(32名増)
入試方法	入試方式が3種類になります。 ・4科目一般入試(国語・算数・理科・社会・グループ面接) ・2科目特色入試(国語・算数・プレゼンテーション面接) New!! ・1科目帰国生入試(算数・プレゼンテーション面接) New!!

【学校見学会日程】

日 程	2024年10月5日(土)
対 象	小学生以上の児童及び保護者の方々
内 容	入試問題解説、学校紹介、校舎見学、部活動体験、ミニ星稜祭も同時開催

【先取り学校説明会】

日 程	2025年2月22日(土)・3月26日(水)・3月27日(木)
対 象	小学校5年生以下の児童及び保護者の方々
内 容	学校紹介、校舎見学、個別相談会

それぞれの詳細は
本校WEBサイトをご確認ください。
<https://www.seiryu-hs.jp/j/exam/>

(学校見学会・先取り学校説明会の参加予約は、
実施の約一カ月前から受付開始します)



金沢星稜大学附属星稜幼稚園 オープンハウスのお知らせ

2025年度入園希望の方(0歳~年長児)を対象にオープンハウスを開催致します。
申し込みは星稜幼稚園WEBサイトもしくはQRより9/20(水)までをお願いします。

詳しくは、WEBサイトをご覧ください。
<https://kinder.seiryu.jp/seiryu/>



日 程	2024年9月26日(木)・9月27日(金)・9月30日(月)	場 所	金沢星稜大学附属星稜幼稚園
時 間	10:00~11:30予定	内 容	園の方針・説明、施設見学、体験、個別相談

この期間で都合が悪い場合は別日でも対応可能です。皆様のお越しをお待ちしております。

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園 見学について

入園をご希望される方を対象に、園見学は随時行っております。
園見学をご希望の方は、お電話にてご予約ください。

詳しくは、WEBサイトをご覧ください。
<https://kinder.seiryu.jp/izumino/nyuen.html>



大学・短大部 入学者選抜概要

2025年度の入学者選抜では、年明けの一般選抜だけでなく年内に受験できる学校推薦型選抜でも試験会場を増設し、入学を目指す方がさらに受験しやすくなるよう、6会場で受験できるようになりました。

【2025年度入学者選抜日程(大学)】

選抜区分			試験日	試験会場
学校推薦型選抜	公募制方式		11月23日(土)	本学・富山・高岡・福井・上越・長野
	公募制方式(専門学科・総合学科)			
総合型選抜	プラス1方式		10月26日(土)	本学
一般選抜	一般方式	A日程	1日目:2月1日(土)または2日目:2月2日(日)*	本学・富山・高岡・福井・新潟・長野
		B日程	3月1日(土)	本学
	大学入学共通テスト利用方式	A日程	本学独自の個別学力試験は実施しません。	
		B日程		
		C日程		
	一般+共通テスト併用方式	A日程	1日目:2月1日(土)または2日目:2月2日(日)*	本学・富山・高岡・福井・新潟・長野
		B日程	3月1日(土)	本学

※2月1日(土)と2月2日(日)は両日受験可

【2025年度入学者選抜日程(短大部)】

選抜区分			試験日	試験会場
学校推薦型選抜	公募制方式(一般)		11月23日(土)	本学・富山・高岡・福井・上越・長野
	公募制方式(専門学科・総合学科)			
	簿記検定特待生方式(日商2級)			
	簿記検定特待生方式(全商1級)			
総合型選抜	自己PR方式(意欲重視型)	I期	10月26日(土)	本学
		II期	12月7日(土)	
	自己PR方式(学習成果型)	I期	I期:11月23日(土) II期:12月7日(土)	
		II期		
	CDP特待生 自己PR方式	I期		
		II期		
一般選抜	CDP特待生 一般方式		1日目:2月1日(土)または2日目:2月2日(日)*	本学・富山・高岡・福井・新潟・長野
	一般方式	A日程		
		B日程	3月1日(土)	本学
	大学入学共通テスト利用方式	A日程	本学独自の個別学力試験は実施しません。	
		B日程		
		C日程		
		D日程		
	大学入学共通テスト利用 CDP特待生方式	A日程		
		B日程		
		C日程		
D日程				

※2月1日(土)と2月2日(日)は両日受験可

入学者選抜の詳細については、本学WEBサイト及び学生募集要項をご確認ください。

大学：入学者選抜ページ
<https://www.seiryu-u.ac.jp/u/entrance/index.html>



短大部：入学者選抜ページ
<https://www.seiryu-u.ac.jp/c/exam/index.html>



大谷芳滋様寄贈絵画「記憶の中に」お披露目の会を開催しました

7月25日(木)、絵画「記憶の中に」(第8回日展入選作品)を寄贈して下さった大谷芳滋様の絵画お披露目の会を開催しました。

寄贈された絵画による芸術の力で、活気ある学びと創造性あふれる教育研究が行われることが期待されます。



ご支援のお願い



学校法人 稲置学園
理事長 榎見 由美子

現在、学校法人稲置学園は、金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部、星稜中学校・高等学校、星稜幼稚園、星稜泉野幼稚園を擁し、学生・生徒・園児数5000名を超える総合学園に成長することができました。

これもひとえに、稲置学園の建学の精神に基づく教育に導かれた在園児・在校生・在学生、これを温かく見守ってくださる卒業生、保護者の皆様、そして、地域の皆様の温かいご支援・ご尽力の賜物と心から感謝いたしております。

本学園は、創立100周年に向けて、認定こども園・中学校・高等学校・短期大学部・大学・大学院の全ての校種において、園児・生徒・学生に対して可能性に満ちた未来を創造するための段階的かつ持続的な教育を目指した教育改革を推進しております。

しかしながら、能登半島地震によって被災した城塚山野球場の崩落をはじめとして被災した施設の復旧はもちろんでございますが、新たな教育改革の下で必要とされる教育及び学習環境の整備は、本学園の急務の課題であります。

皆様におかれましては、建学の精神である「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を掲げ、質の高い教育の実現ならびに学習者が個性豊かにして健やかに学べる教育環境の整備のためにご支援をいただけますように心よりお願い申し上げます。

詳しい寄付方法についてはホームページをご覧ください
インターネットからのお申込みもご利用いただけます



Since 1932

星 稜

誠実にして社会に役立つ人間の育成

学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部
石川県金沢市御所町10番地1
TEL 076-253-3924 (代表)
(大 学) <https://www.seiryu-u.ac.jp/u/>
(短大) <https://www.seiryu-u.ac.jp/c/>

星稜高等学校・星稜中学校
石川県金沢市小坂町南206番地
TEL 076-252-2237 (代表)
<https://www.seiryu-hs.jp/>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園
石川県金沢市御所町南27番地
TEL 076-252-5057 (代表)
<https://kinder.seiryu.jp/seiryu/>

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園
石川県金沢市泉野町6丁目17番30号
TEL 076-244-5636 (代表)
<https://kinder.seiryu.jp/izumino/>

バックナンバーを、
ホームページにて公開しています。
<https://www.seiryu.jp/magazine/>

